

生活教室「親の会講演会」開催

福井県聴覚障がい者と親の会の主催で、当法人の聴覚障がい者生活教室としての「親の会講演会」が、7月21日(日)に県社会福祉センター2F 身障第2研修室において開催されました。

福井大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科の伊藤有未先生をお招きして、「お子さんのより良い聴こえとことばの発達のために」のテーマで講演いただきました。

講演会に参加したのは19名でした。医大の伊藤先生には、赤ちゃんがどの様に言葉を獲得していくのか、家庭での声かけのポイントを分かりやすく説明していただきました。

また、社会に出た時に難聴の方がこういった場面で困るのか、どの様に支援を受ければ良いかなど大変参考になる講演をしていただきました。

講演会の後は、座談会形式で日頃の疑問や心配事を、伊藤先生に加え、保護者からも経験を交えて情報交換する事が出来ました。



聴覚障がい者デイサロン開催



今年度最初の聴覚障がい者デイサロンを福井市の県社会福祉センター手話室とプレイルームにおいて、8月29日(木)13:00～15:00に開催しました。

自分では通うことができない高齢ろう者を当法人の公用車で送迎し、当日は7名が参加されました。

従来ミニミニデイサロンを開催してきた方々6名と、当法人職員4名が支援し、体重と体温と血圧および血中の酸素濃度を測り、熱中症の危険性の注意等の話に

引き続き、卓球バレーを行いました。

本来は、椅子から腰を浮かせて球を打ってはいけませんが、競技に集中し過ぎて思わず立ち上がってしまう人もいて、あちこちが痛いと言っていたのも忘れて、大変楽しそうでした。

今後は坂井地区、丹南地区、嶺南地区、奥越地区でも開催したいと考えています。

福井市では1月もしくは2月に再度開催予定です。



全聴情協意思疎通支援担当者研修会

7月24日(水)～26日(金)に意思疎通支援担当者研修会が、京都の全国手話研修センターと京都市聴覚言語障害センターにおいて開催され、全国35都道府県から47名が参加しました。

従来は派遣コーディネーターが参加してきましたが、今回の研修会テーマが「電話リレーサービスについて～民間企業と情報提供施設の現状を知る」「情報提供施設のあるべき姿とは」「個別支援～現状とこれから必要とされるサポート」という、施設全体の内容であることから、施設長の石田が参加しました。他県からも施設長の参加が多かったようです。

電話リレーサービスは、安倍首相が国会で「総務省が担当する」と答弁したため、厚生労働省が日本財団から引継いだ現在の情報提供施設が担っている「電話リレーサービス」とは異なり、電話料金に含まれているユニバーサル料金から予算化し、来年度は40億円とも言われています。電気通信事業者が民間企業委託で土・日・祝日も24時間体制サービスを行うことになりそうです。

手話通訳派遣のみならず通訳者設置事業まで入札を行う自治体まで現れ、適切な派遣コーディネイトを行っているか審査し、(適)マークを交付の上、優良事業所を公表する評価システムの取り組みを、近畿合同機構で来年3月に向け準備を進めています。

手話通訳士の高齢化が叫ばれて久しく全国的に「シーラカンス」化し、手話奉仕員養成講座の受講生高年齢化も全国共通で認識され、ボランティアから就職に結びつくよう、龍谷大学と全国手話研修センターが政策協定し大学サークルとの連携が始まっています。

遠隔手話通訳や電話リレーサービスでは、対面手話通訳と異なり活用できる諸条件が制限されるため、通訳の精度が落ちることになり、別のスキルや研修が必要となると解説がありました。



全聴情協第2ブロック研修会

9月6日(金)12:00～16:00に富山県聴覚障害者センターにおいて、全聴情協第2ブロック研修会が開催され、福井県からは西川職員と施設長の石田が参加しました。

意思疎通支援担当者研修会は、各県の「平成30年度手話通訳等派遣実績報告」に引き続き、「手話通訳等派遣事業との連携について」、「情報提供施設のあるべき姿とは～ICTに任せる部分と人が寄り添う部分～」の討議、および「電話リレーサービス実施状況報告(長野・富山)」があり、今後の研修会の在り方について話し合いました。

ソフト制作担当者研修会は、各県が制作した作品鑑賞・批評を、助言者に(有)オン・エアとや代表取締役社長の岩嶺義博氏を迎えて行い、アドバイスを受け今後の作品作りの参考となりました。スタジオ機器更新についての情報交換も行いました。今後は各県の作品を、「目で聞くテレビ」等に提出する前の試作段階でお互いに評価し合い、より良いソフト制作を目指すこととしました。

従来の施設長会議とは別に開催された変有意義な研修で、毎年輪番制で続けていくこととなります。

法人理事・監事選出

去る6月18日(火)の第1回評議員会における、令和元年度・2年度の理事と監事の選出を受けて、7月2日(火)に第2回理事会を開催し、理事の互選により理事長が選出され、丸山継男氏が留任となり、業務執行理事に石田事務局長を指名しました。

新任の理事は、ろうあ協会が熊野壮一郎氏と全要研の日種隆三氏で、ろうあ協会の丸山継男氏、中途失聴・難聴者協会の土谷重美氏、全通研の山田裕三氏、事務局長の石田稔は留任となりました。監事には前施設長の眞家徹氏が選出され、山森敬之氏は留任いただきました。

北信越ブロックリーダー研修会

全国手話研修センターの主催による、手話奉仕員・手話通訳者養成担当講師ブロック研修会の、北信越ブロックが県社会福祉センターにおいて9月7日(土)～8日(日)に開催されました。

北信越各県から奉仕員講師19名(内福井16名)と通訳者講師6名(内福井3名)が受講しました。

7日(土)は奉仕員・通訳者合同で、小椋武夫氏と大杉豊氏の講演を受講し、8日(日)は分かれて、手話通訳者養成では演習やグループ討議を行い、奉仕員養成では全体討論と実技研修「事例検討」を行いました。

このブロック研修会は従来新潟県糸魚川市で開催されてきましたが、今年度から持ち回り開催となったため、福井県ろうあ協会が担当する運びとなり、5年後には再び福井で開催される予定です。

手話通訳士政見放送研修会 in 福井



全日本ろうあ連盟、日本手話通訳士協会、全国手話通訳問題研究会による「三団体政見放送検討委員会」主催で、9月7日(土)に県社会福祉センターで「政見放送研修会 in 福井」が開催され、7名が受講しました。

政見放送の手話通訳は、事前研修を履修した手話通訳士が担当していますが、今年から研修履修5年更新がスタートしました。

そのため福井県では2020年以降、政見放送ができる通訳士が1名のみになってしまうことから、4月27日(月)に東京で3名が受講し、さらに今回の4名が受講することにより、なんとか8名が政見放送の通訳を担うことができるようになりました。

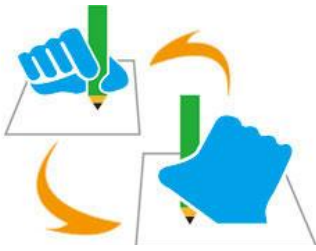
しかし、候補者1名に対し控えの通訳士と合わせて2名を派遣しなければならず、まだまだ十分とは言えません。

おくやみ

前監事の千田晴夫氏は、当法人設立時より監査および第三者評価委員をお引き受けいただいておりますが、7月14日に逝去されました。平成29年度より評議員選任解任委員も担当されており、第3回理事会において後任を選出することとなります。

千田氏のご冥福をお祈り申し上げます。

要約筆記者養成講座



9月15日から来年2月23日まで毎週日曜日 13:00～17:00 県社会福祉センターにおいて、要約筆記者養成講座日曜福井市会場を開催し、12名が受講しています。

また、9月28日(土)に鯖江市民活動交流センターにおいて、要約筆記者養成講座土曜丹南会場の修了式が行われ、9名が修了しました。その修了生の内、手書きコースの修了者6名中4名が日曜会場のパソコンコースを、パソコンコース修了者3名中2名が日曜会場の手書きコースを受講中です。

土曜丹南会場と日曜福井市会場の両方を受講することにより、来年2月16日(日)の全国統一要約筆記者認定試験で、パソコンと手書きの両方を受験することができます。

受験申込期間は12月1日(日)～25日(水)です。

坂井市・あわら市の手話奉仕員養成講座のご案内

10月16日から来年3月18日まで、坂井市において毎週水曜日 19:00～21:00に、坂井市東十郷コミュニティセンターにおいて手話奉仕員養成講座入門過程を開講します。定員が20名程度で、手話を学んだことのない坂井市に在住・在勤の方が優先です。



また、10月23日(水)には基礎課程の修了式があります。

同じく10月23日から来年3月18日まで、あわら市において毎週水曜日 9:30～11:30に、あわら市中央公民館において手話奉仕員養成講座入門課程を開講します。定員が20名で締め切りは10月18日(金)です。

また、10月16日(水)には基礎課程の修了式があり、4名が修了予定です。

令和元年度前期聴覚障がい者向け映像ライブラリー新着情報

No.	分類番号	情提No.	番組名	分
1	CB2019-001	190873	世界遺産 日光の社寺 日本	25
2	CB2019-002	190874	世界遺産 小笠原諸島 日本	25
3	CB2019-003	190875	世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群 日本	25
4	DA2019-005	190876	ろうを生きる難聴を生きる 人とふれあいが仕事の原動力	15
	DA2019-006		ろうを生きる難聴を生きる 絵日記が育む家族のことば	15
	DA2019-007		ろうを生きる難聴を生きる プロの料理人を目指して	15
	DA2019-008		ろうを生きる難聴を生きる 聞こえないキックボクサーの挑戦	15
5	JA2019-001	190877	おはなしのくに きんたろう	10
	JA2019-002		おはなしのくに ぶんぶくちやがま	10
6	JC2019-001	190878	おはなしのくに ジャックと豆の木	10
	JC2019-002		おはなしのくに 大きなかぶ	10
11 作品 6 盘面				